



# 迎春

総てが天地清浄六根清浄と開かれた本年こそ  
 天地平安萬人安福 只一条の誠を捧げ奉り  
 益々の彌栄をお祈り申し上げます



## 勅裁百三十年の六教派で

### 神宮参拝と有栖川宮様展墓

十一月六日、勅裁特立百三十年記念事業として、神道六教派の代表（神習教教主芳

村正徳氏、大成教管長飯田典

親氏、御嶽教管長村鳥邦夫氏、

本教総務穴野史生氏）が神宮

を正式参拝しました。

当日は、鷹司大宮司に謁見

し、六月に開催した記念式典

にお祝いのメッセージを賜つ

たことに感謝の意を申し上げ

ました。

大宮司より「近年、神宮へ

の参拝者は増加傾向にあり、

神道日本人の心のよりどころ

となつていふと思ひます。こ

れからも教派の方々と共に、

神道の精神の高揚に努めましょ

うとのお言葉を賜りました。

また、十月十八日には有栖川宮職仁親王御墓に展墓 本教からは鴨田和征教務部長が代表として拝礼致しました。

## 宗教者災害支援連絡会

十月二十九日、東京大学仏教青年センターにて、宗教者災害支援連絡会（会長 東京大学島菌進教授）第12回報告会が開催されました。

この日は講演者として本教から東日本大震災復興支援対策事務所武山孝行所長（仙台発心教会長）が招かれ、「このころの復興支援を考える」と題して講演しました。

武山所長は、震災当時避難所だけでなく自宅に避難していた被災者が多く存在していたことに言及し、これらの人々は自宅避難者といい、自宅は無事だったもののライフラインが断たれ、厳寒の中で生活を強いられたとともに、公的な支援品が充分に支給されずにいて、大変苦労された

そうです。本教内より寄せられた多数の支援物資は、主にこういった自宅避難者へ届け、大変喜ばれています。また、このはな会（本教主催のボランティア団体）が支援している地元宮城の民謡グループ瑞穂乃会の避難所慰問コンサートが、延べ三千の人々に声に

出して歌を歌ってもらうなど、心を通わせることができたとの報告がなされました。穴野総務（宗教者災害支援連絡会の世話人）は、復興庁が行っている「福島復興再生基本方針」に関して、公益財団法人日本宗教連盟の対応について報告しました。

## 訃報

本教第五世管長杉山一太郎台下におかれましては、去る十二月十日享年九十二歳にて都天還原されました。

茲に謹んで通知申しあげます。

神道扶桑教大教廳

